

平成 24 年度 長久手市児童館事業計画

1 平成 24 年度児童館活動基本目標

- (1) 遊びを通じた仲間作りを促進し、児童の健全育成を図る。
- (2) 地域に根ざした児童館事業を行う。
- (3) 日本の伝統文化や四季、郷土の文化を取り入れた事業を行い、郷土愛を育む。

2 単年度事業

第 12 回全国児童館・児童クラブあいち大会

- ・日時 平成 24 年 10 月 27 日（土）、28 日（日）
- ・会場 ウィンクあいち（名古屋市中村区名駅、愛知県産業労働センター）
- ・主催 財団法人 児童健全育成推進財団
- ・目的 全国の児童館・児童クラブ関係者の研究協議と交流の場とする。
全国の児童館・児童クラブ職員の資質向上を図る。
児童館・児童クラブを広く社会にアピールする。
時代に即した児童健全育成活動を模索する。

- ・事業内容 基調講演、分科会、活動発表、交流会

全国児童館・児童クラブ大会は、平成 7 年から毎年開催されており、第 12 回大会となる今回は愛知県が会場となるため、愛知県児童総合センターが中心となって、開催するものです。

長久手市児童館は、プログラム中、活動発表（出前児童館「あそびば」）に参加します。児童館・児童クラブの職員も分科会等へ積極的に参加できるよう配慮し、職員資質の向上を図ります。

3 継続事業

(1) 児童館まつり

- ・日時 5 月 19 日（土）午前 10 時から午後 3 時までを予定。
- ・会場 青少年児童センター、上郷児童館、杵ヶ池体育館

学校区	担当児童館	開催会場
長久手小・北小	青少年児童センター 下山児童館	青少年児童センター
東小	上郷児童館	上郷児童館
西小・南小・市が洞小	西児童館、 南児童館	杵ヶ池体育館

平成 22 年度から会場を 3 か所に分け、こどもスタッフと協力して行っている。
平成 23 年度の来場者数は、学校の部活動と重なったこともあって、減少した。

(役場会場平均来場数 1,700 人。平成 22 年度 1,702 人、平成 23 年度 1,504 人)

しかし、屋内での開催は天候に左右されないこと、会場が分散したことで待ち時間が短くなったこと、会場もスタッフも身近になったことなど、アンケート結果については概ね好評を得ている。

開催時期は、厚生労働省が主唱する児童福祉週間に合わせ、5月とする。

また、地域の方、大学生のボランティアとの一層の連携をすすめ、一層の充実を図ります。

(2) 小学生料理教室

- ・対象 小学生各回 20 人
- ・会場 青少年児童センター 創作活動室
- ・事業内容 簡単な調理実習と試食
- ・メニュー (予定)

4 月	米粉バナナマフィン	11 月	米粉でもっちり鬼まんじゅう
6 月	じゃがいもと米粉のニョッキ	1 月	チョコパイ & マシュマロチョコ
7 月	フレンチトースト	2 月	生地から作るピザ
9 月	ホットドック	3 月	マカロン
10 月	どんどん焼き		

長久手市地域資源の米粉や旬の素材、季節・郷土の料理をメニューに取り入れることで、食育の推進を図ります。

(3) 中学生・高校生講座

- ・対象 市内在住または在学の高校生
- ・会場 青少年児童センター 創作活動室
- ・事業内容 料理教室や造形教室を開催し、高校生の利用促進を図る。

平成 21 年度から開設し、平成 23 年度は外部講師によるプログラムも開催したが、参加者が少なく、事業の見直しが必要です。

中高校生のニーズの把握に努め、今後の方向性を研究します。

(4) 児童館内昼食許可制度

- ・対象 保護者の就労などにより昼食時間帯に留守となる小学生
- ・場所 各児童館
- ・事業内容 保護者が就労しているため学校休業日（夏休みなど長期休業や行事による代休日）、土曜日などの昼食時間に留守となる家庭の小学生が、児童館へ一般来館する際、弁当を持参して児童館内で飲食するのを許

可する制度（事前の申請が必要）

4月始業式から給食開始日前日までの間のみ、学校から直接児童館へ下校することができる。

各館での昼食許可制度登録者は20名程度ですが、1日当たりの利用者数は、多い日で10人程度です。1日当たりの定員は各館概ね20人としています。

利用状況にも特に問題はなく、今後は利便性を考慮して申請方法を簡略化するなど一層の改善を図ります。